



1 面 目次／平成 27 年度 TIFA 総会終了 2 面 これからの「取手市国際交流協会」活動への思い／日本で暮らす外国人「シリーズ 17」 3 面 ふらりアジアひとり旅くその 2> 4 面 日本語教室 NOW 日本語学習支援ボランティア／TIFA サロン「世界料理の集い」マレーシア料理編／外国人のひとりごと／新会員紹介

## 平成 27 年度 TIFA 総会終了

5 月 10 日（日）福祉交流センター多目的ホールで午前 10 時 30 分から、31 名の参加を得て、当協会員 中国出身である陸 菁（りく せい）さんの司会で総会を始めました。志村会長、来賓の藤井市長の挨拶、葉梨康弘衆議院議員秘書の紹介の後、松元議長を選任して議題の進行を行いました。

平成 26 年度の事業実績報告、収支決算報告が承認され、続いて、会則第 13 条 2 項の一部変更を提案し、承認されました。平成 27 年度 事業計画、収支予算の説明が行われ全ての議案が承認されました。引き続き、立食パーティー形式で会員親睦会を行いました。常日頃、あまり顔を合わせない人も多く、藤井市長も参加頂き、外国出身者も多く参加して、各テーブルで交流が活発に行われました。今年度も地域レベルの国際交流を推進するとともに、外国出身者にとっても住みよい取手市を目指して活動していきます。来年度の総会にも皆様の参加宜しくお願い致します。



（総務部 萩原義夫）

### 役員紹介

（平成 28 年度総会まで務めます。今期平塚会計に替り林理事が会計担当に就任しました）

会長	志村 俊晴	理事	土井 照夫
副会長	南 典男	理事	福元 満子
副会長	鈴木 忠男	理事	吉村 満毅
副会長	萩原 義夫	理事	山中 韻晶
理事	四方田 信之	会計	林 澄子
理事	斉藤 リリアナ	監事	福井 武宏
理事	佐々木 房子	監事	吉田 雅弘
理事	三上 栄治		

日本語教室部長 三上 栄治 （理事兼務）

交流部長 土井 照夫 （理事兼務）

広報部長 鈴木 忠男 （副会長兼務）

総務部長 萩原 義夫 （副会長兼務）

# これからの「取手市国際交流協会」活動への思い

取手市国際交流協会は27年前の1989年2月「取手市国際交流推進会議」として行政主導で発足を致しました。その後、村上 節元会長を中心に発足した新執行部の基に市民と行政とが協業・協働する国際交流協会へと改組・発展を致しました。現在、個人会員206名、法人会員11団体を有する組織となっております。

市民交流の「交流部会」、外国出身者への言葉のサポート「日本語教室部会」、会員及び市民への情報提供「広報部会」を中心として国際交流活動を展開しております。しかし、取手市人口の減少、高齢化に伴い会員数減少を余儀なくされているところです。今期の課題は会員の減少に歯止めをかける事とTIFA組織活性化のための各種事業であると思います。その一環として昨年度より「総務部」を創設し、組織体制の強化に努めております。また今後は行政から各市民団体への補助金が削減されることも考えられ、TIFAがその対象になる可能性もあります。そのためTIFA組織と行政組織との関連のあり方を整理し、NPO法人化に対する取組みと共に、自主事業資金の確保を検討する時期になったと考えております。このような問題解決には会員の皆様の協力が必要不可欠です。会員全員で活力あるTIFA活動を実施していきましょう！

会長 志村 俊晴

## 日本で暮らす外国人 紹介シリーズ 17

## 地域の中で多文化に出会う

私の名前は山中韻晶、マレーシアのクアラルンプール出身の華人で、取手市の隣、利根町に住んでいます。家族は日本人の夫、高校2年生の娘の3人で、日本に来たのは18年前です。現在は英語講師。保育園と英会話教室で指導しています。趣味は裁縫、小物作り、旅行も大好きです。



◆ 「何をしたい？」 --- 子供の英会話教室を開きたい。

2020年のオリンピックの通訳をしたい。

◆ 「子供から見たお母さんはどんな人？」

いつも家族の事を心配してくれて、自分のことよりも家族のことを優先してくれるとても優しく、おもてなし上手な母です。

◆ 「アピール」 --- 5つの言葉を話せます。（英語、マレーシア語、広東語、北京語、日本語）

◆ 「生活様式」

マレーシアは多民族（マレーシア系、中国系、インド系）の国、気候は熱帯、一年中暑い「夏」ですが、日本の夏のようにジメジメとした暑さではなくカラッとした暑さで、汗もそれほどかきません。国教はイスラム教ですが、信仰の自由は認められています。お正月も年に4回。まず最初は1月1日に西洋式の新年を祝います。次に中華系、旧正月チャイニーズ・ニューイヤ。花火と爆竹が鳴り響き、獅子が舞う盛大なものです。3つ目マレー系、お正月はイスラムセラマーハリラヤ・プアサ。このお祝いは、1ヶ月に及ぶ長いラマダン(断食)明けを祝うもので、最後11月初旬ヒンドゥー教徒のお正月、デーパバリ。祖先にお祈りを捧げるお盆です。8年連続「移住人気、住みたい国」世界No.1 マレーシアは私の母国です

(記 山中韻晶)

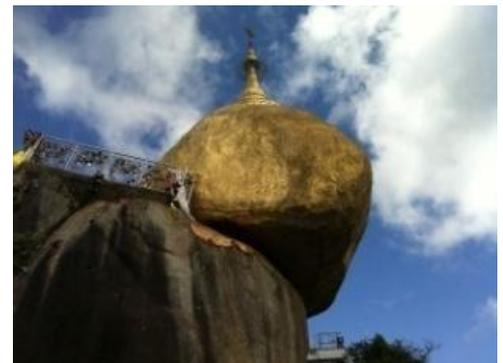
# ふらいアジアひと旅 2014年10月20日～12月4日

## 【その2】【ミャンマー編】 11月8日～11月23日

ヤンゴン（ラングーン）の街はイギリス統治時代に整備されて非常に綺麗で、メイン道路は片側4車線あり両脇にはグリーンの木々が植えられ、広々とした印象だ。しかし一旦脇道（と言っても広い）に入ると、屋台のイス、テーブルが道に並べられ違法駐車車がずらりと並び、その間を一般車、通行人が通っているから渋滞している。私が持参したガイドブックの情報は古く、カード使用不可、ドルのみ使用可だった。しかし現地入りをすると宿代、タクシー代はドル払い、バス代、飲食代はチャットk（現地通貨）、“カード使えます”のステッカーも貼ってある。発展著しいミャンマーでは一刻一刻と変化し古い情報は通用しない。ミャンマーは3年前軍事国家から開放され、世界中の人々が行ってみたい国の上位にある。車購入解禁で多くの人が自家用車を持つようになり、市街地は大渋滞、騒音、ゴミ。日本の中古車も多く見られ、福島交通のバスの車内には運転手のネームプレートがそのまま残っている。車ばかりではない。鉄道も日本の中古車両が使われ、日本語で注意書きが書かれている。その日本中古車両に乗ってヤンゴン周辺一周のサークルライン3時間300k（30円）の鉄道の旅も面白かった。



ヤンゴン周辺のチャイティヨー（岩が落ちそうで落ちないゴールデンロックで有名な巡礼地）行きルートは、今は外国人の観光客急増でヤンゴンから日帰りが可能になっている。山頂に行くトラックの荷台には40名が詰め込まれ、前の席には赤い法衣を着た僧侶の頭がずらりと並んでいる。45分間急な山道をスピードをあげて登る。アドベンチャーだ。面白い。そのまま日光のいろは坂を運転できる腕前だ。



最大の観光地バガンへはヤンゴンからバスで12時間。JJ エクスプレスというナイトバスは快適で、例えるならクッションの効いたソファが車内に3列並び乗り心地は抜群だ。途中トイレ休憩の為に大きなドライブインに停まる以外は、きれいに舗装された道をひたすら進む。長くは感じない。ドライブイン以外には何もなく車窓には広い草原が広がり、日本の1.8倍の面積でさすがに広い。バガンには平野部一帯約40km<sup>2</sup>のエリアに、数千もの大小様々な仏塔や寺院が林立していて、殆どの建造物が11～13世紀に建設されたものだ。それぞれ特徴があり高い寺院の上に登り周りを見渡すと、平原に幾つもの寺院がポツンポツンと立ち並び素晴らしい眺めだ。圧巻！このバガンの景色を見る為にミャンマーまでやって来た。遺跡巡りに風情を添える馬車で一日のんびりと楽しんだ。

私が泊まった宿にはアウンサンスーチン女史と国連のパングムン総長、オバマ大統領との対談の写真入りカレンダーが掛けられており、スーチン女史の人気のほどが覗える。また街中で見かける民族衣装のロンジーを着た男性が日傘をさしている姿は、何とも優雅で色気があり見ていると心地良い。ミャンマーは仏教国で人々は優しく、伸びしろいっぱいの魅力的な国だ。それにしても暑い！

つづく （交流部 佐々木房子）

中央教室夜の部を開講して2年半になります。当初数人の学習者が登録されましたが、なかなか定着せず、仕事の都合や各々の事情で学習者がゼロの日も多く、寂しい教室が続きました。

今年に入り立て続けに新しい学習者の入会があり、今では5～7名の方が毎週熱心に学んでいます。ネパール出身の方が多く10名余りの登録のうち中国とデンマーク出の方が1名ずつで、後は全てネパールの方です。今回のネパール大地震では学習者の親族の方々に直接の被害がなかったそうで不幸中の幸いでした。

日中仕事か学校での勉強を終えての学習で少しでも飽きずに楽しく学べるよう腐心しています。全体にリズムと活気がありますが、これは母親の日本語学習についてくるサガル君(5歳)の教室中を元気に走り廻る活躍にも寄るところが大了。これからもアットホームな明るい教室を目指したいと思います。

(日本語教室部 佐藤友哉)



## TIFA サロン「世界の料理の集い」マレーシア編 予告

マレーシア料理を作って、食べて、国際交流、国際理解を深めませんか！  
下記の通り開催します。マレーシア料理にご興味のある会員の皆様大歓迎です。

開催日、時間

6月14日(日) 午前10:00～午後3:00

場所

井野公民館 調理室

講師

山中 韻晶さん(TIFA会員) 他1名

募集人員

先着25名 参加費 500円/人

申込

斉藤 080-3438-0675 山中 090-6656-3499

持参するもの

(料理する人) エプロン 三角巾

### 新会員紹介(敬称略)

山本 慶子 有川 洋子  
佐藤 義雄 飽本 基子  
エリック・ハンセン  
バースンシャハガル・ダワフー

### 日本人のひとりごと

4月25日ネパールの首都カトマンズ近郊でM<sub>g</sub>7.8の大規模な地震が発生しました、多くの建物が倒壊し、大勢の方が被災されました。4年前の東日本大震災の事を考えると他人事ではありません。日本からも自衛隊の復興チームが派遣され活動しています。近年、ネパールから日本にきて勤勉に、熱心に働いている人が大勢います。TIFAには8名あまりのネパール人の会員がおり、日本語を勉強しています。その方々の故郷の親戚には被害がなかったと聞いています。不幸中の幸いでした。しかし1人のネパール人会員には連絡が取れずいて大変心配しています。会員の皆様ネパールの復興に協力しましょう。

連絡先：取手市国際交流協会事務局 取手市役所秘書課内

TEL:0297-74-2141 内線 1112

FAX:0297-73-5995

E-Mail:hisho@city.toride.ibaraki.jp ホームページ:http://www.tifa-japan.com